

國學院大學 神道文化学部

グローバルな時代だからこそ
日本を学ぼう!



★アイスブレイクで友達づくり!

★就職上昇率 **No.1** の大学

※『就職力で見抜く! 沈む大学 伸びる大学』(朝日新書)より

オープンキャンパス (渋谷キャンパス) 5月18日(日)、7月20日(日)、21日(祝・月)、8月23日(土)、24日(日)、9月21日(日)、10月26日(日)

★アイスブレイクで友達づくり!

神道文化学部の特モダチ作戦!

「なかなか友達ができない」「人見知りがひどくてクラスになじめない」…。神道文化学部では、新入生のこうした悩みに応え、「友達づくり」「仲間づくり」のための企画、「アイスブレイク」を開催しています。

「アイスブレイク」とは、入学直後の「硬い氷」のようなぎこちない空気を打ち砕き、和気あいあいのなごやかな雰囲気醸成し、4年間の仲間づくり・友達づくりのチャンスを提供するものです。アイスブレイクを経て、キャンパスのあちこちで、次々に談笑の輪、友達の輪が広がっていきます。



新入生同士、
楽しみながら互いを知り、
友だちをつくる

都心のオアシスでアイスブレイク、さらに親交を深める

新入生アイスブレイクは、都心のオアシス、明治神宮においても行われました。スリル満点なグループワークののち、東京ドーム15個分の広さを持つ「神宮の森」をのんびりと散策し、共に語り合い、友情を深めています。

2日間にわたるアイスブレイクで、神道文化学部の新入生は、「人と繋がることの愉しさ」「みんなと力をあわせることの喜び」を満喫します。ここで培われた友情と絆、ここで足並みを揃えた共同の歩調で、4年間の「学びの山のぼり」の「^{うい}初山^{やま}踏み」(本居宣長)を踏み出していきます。

学外へ出て、
神道文化・日本文化を
みんなで体感



在学生メッセージ

かけがえのない仲間が、一生の友が、きっとみつかります

私は、地方から上京して國學院大學に入学しました。東京での初めてのひとり暮らしは、とても心細く、戸惑うことばかりでした。しかし、それもごく最初のうちだけ。クラスメートと打ち解けると、みんなも同じような不安を抱えていたことがわかりました。仲間同士の絆は、寝食を共にする実習の授業で一層強まります。みんなで励まし合い、力を合わせ、やり遂げた時の達成感は、本当に最高でした。

神道文化学部では、さまざまな環境で育った者が集まり、目標を共有し、時に悩みも打ち明けあうことで、他の学部には見られないような「一体感」が育まれています。この連帯感、かけがえのない仲間、そして四季折々の行事の感動は、「わが國學院、わが神道文化学部なればこそ」のものです。私はそのことを、心から誇りに思っています。志願者のみなさん。神道文化学部で、共に目標に向かって頑張りましょう!



成人加冠式(神道文化学部の成人儀礼)*で
※裏表紙の「伝統行事」をご参照ください。

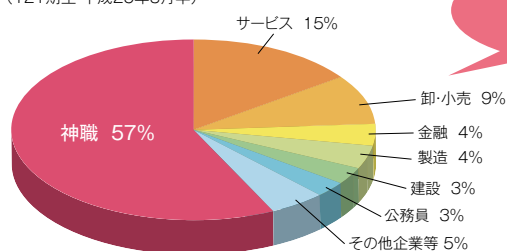
宮本まなかさん

神道文化学科2年生
フレックスB(昼間主)在学 (取材時)

★就職上昇率No.1の大学

●就職支援にも力を入れています

■神道文化学部業種等別進路別比率グラフ
(121期生 平成25年3月卒)



神職だけでは
ありません

2014年1月20日に朝日新聞出版より『就職率で見抜く! 沈む大学伸びる大学』という本が発売され、その中で國學院大学の就職伸び率が全国トップであったことが紹介されました。神道文化学部からは、神職や一般企業のほか、教員や公務員としての進路が開けています。就職支援の体制も充実していて、各種資格取得のためのサポートにも力を入れています(裏表紙「就職支援・資格取得のためのサポート」をご参照ください)。

神道文化学部から中学校教員へ!

卒業生メッセージ

中学生たちに、日本の伝統と文化を伝えたい

神道文化学部では、笹生衛教授のゼミ(「神道史学演習I・II」)に入り、考古資料から古代の祭祀や信仰を考える研究を行いました。研究を進めていくうちに、「この学びの楽しさを、ぜひ子供たちに伝えたい」という思いが強くなり、教員採用試験を目指すことを決意、教職総合ゼミをはじめ、夏期講習・専門教科ゼミ・個別指導・春季講習・合宿・直前講習など、大学で行われている教職関係のすべてのセミナーに参加しました。この間、ゼミ仲間と模擬授業を行ったり、中学校でのスクールボランティア、特別支援学級での介助員等の経験も重ねました。

神道文化学部だからといって、全員が神職を目指すわけではありません。学生は、神道の学びを経て、教員・公務員・一般企業など、さまざまな道に進むことができます。どの道を選ぶかは、あなた次第です。みなさん、頑張ってください。



千葉県公立中学校
社会科教諭

佐藤智美さん

平成24年神道文化学部卒業(120期)

卒業生メッセージ

地元中学の社会科教員を目指して

私は平成26年度の新潟県公立学校教員採用試験に合格し、今春から中学校社会科の教員として教壇に立っています。大学時代は、神職資格・教員免許を取得するために、さまざまな科目を履修しました。神道文化学部での学びを経て、「より自分の研究を深めたい」「社会科教員としての専門性を磨きたい」という思いが強まりました。そこで学部の先生方とも相談して、地元の上越教育大学大学院への進学を決意しました。大学院では、民俗学を専攻分野とし、積極的に調査地へ足を運び、現地の方々の聞き取りを行いました。そうした中で、地元の多くの方々と親密な人間関係を築けたことが、自分の何よりの財産となりました。

私が念願の教員になったのも、神道文化学部の先生方、修学相談室の学務補助員の方々が、教員試験の受験、さらに大学院への進学を、力強く後押ししてくださったおかげです。みなさんの学生生活の充実、みなさんの夢の実現を、一先輩として、心から応援しています。



新潟県公立中学校
社会科教諭

中川大志さん

平成23年神道文化学部卒業(119期)

★導入演習で基礎学力づくり!

学びのクラスも和気あいあい



学生による「神語り」(1年次「古典講読I」、武田秀章教授担当)

神道文化学部では、少人数クラスの演習科目を各学年に配置し、教員による親身な個別指導、学生同士の積極的な学び合いを通じて、「豊かな学問体験」ができるように配慮しています。

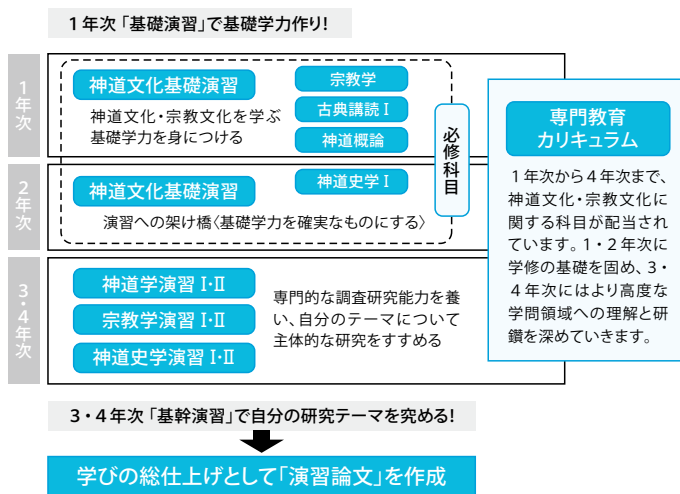
また大教室の授業においても、学生と教員がしっかりとコミュニケーションできるように、グループワークを活用した対話型・双方向型の授業運営が試みられています。

「充実の導入教育」から、「専門の少人数ゼミ」へ



3・4年次「基幹演習」

3・4年次には基幹演習科目を選択、ゼミに所属して発表や討議、論文の作成を行う(「神道史学演習I・II」、岡田莊司教授のゼミ風景)



在学生メッセージ

日本の精神文化に対する理解が格段に深まりました

私は、長くシステム・エンジニアとして働いてきましたが、仕事で外国人と交流する中で、自らの日本文化に対する理解の無さを痛感するようになりました。そこで、日本文化の源流である神道をしっかりと学ばなければならないと考え、神道文化学部への入学を決意したのです。

もちろん会社勤めとの両立は楽ではありませんが、フレックスAは授業が夜間の時間帯で開講されているのが大きな助けでした。平日6・7限と土曜終日で既定単位をすべて履修することができ、また課外補講や7限以降の諸先生による質疑対応など、一方通行ではない学修で理解が一層深まりました。経済的には、「フレックス奨学金」※が大きな支えになりました。

神道学のみならず、日本の文化・文学や歴史に関する幅広い科目が開講されているのが、神道文化学部のカリキュラムの強みです。ゼミでは神社祭祀を研究しましたが、これからも、「日本の祭祀」の底知れぬ魅力を求め、自らの「ライフワーク」として研究を続けていきたいと思っています。



矢内敬司さん

神道文化学科4年生
フレックスA(夜間主)在学
(取材時)

※裏表紙の「奨学金制度」をご参照ください。



★一般子弟でも神職の道へ!

卒業生メッセージ

懐かしい母校、4年間の学びを糧として、立派な神職を目指します

「神主になれる大学がある」…。父から國學院大學のパンフレットを渡された日の事が、昨日の事のように思い出されます。お恥ずかしい話ですが、お寺と神社の違いもよくわかっていなかった高校2年生の時の話です。父は病気だったため、私が経済的に進路を選ばずにいるのではないかと心配してくれていました。

一般家庭から神職を目指し、まともな知識も無いまま神社界へ飛び込んだ私でしたが、「フレックス奨学金」※の支給と、「神社実習制度」からの奨学金を頂けたおかげで無事に大学を卒業し、信じられないことに鶴岡八幡宮へ奉職させて頂けることになりました。もちろん、学生時代には想像もできなかったような試練に直面することもありましたが、そんな時は、神社実習で身に付けた「神主魂」が大きな力になりました。

実習制度の経験無しに、今の自分は絶対にありえません。授業では週1回しか見てもらえない祭式作法も、住込み制度なら毎日が実践です。実習神社だった穴八幡宮と千住神社の方々には、本当にお世話になりました。

心配事があれば、大学の先生方が親身に相談に乗ってくれます。さまざまな制度を積極的に活用して、神職を目指してほしいと思います。

※裏表紙の「奨学金制度」をご参照ください。



鶴岡八幡宮出仕
神道文化学部フレックスA(夜間主)
平成25年3月卒業(121期)
宮本 龍一さん

各種課外講座も充実!

和歌講座

新進気鋭の歌人、田中章義氏(第36回角川短歌賞受賞)による和歌の作成指導。



マナー講座

将来、神職としてだけでなく、社会人としても必要となる礼儀作法や種々のマナーについて学べる講座も開催。



書道講座

本学書道専任教員の指導による、神社での社頭実務にも役立つ実用習字の練習。



神話『稲羽(いなば)の素戔(しろすさ)』をモチーフにデザインされた國學院大學のマスコット「こくびょん」です。

みやは 雅な「舞」と「楽」に彩られた二つの伝統行事

古式にならない、冠(男性用)や釵子(女性用)を身につけて成人になったことを祝う1月の「**加冠式**」。名月を愛でながら、豊かな四季を大切にしてきた日本人のこころを感じる10月の「**観月祭**」。神道文化学部では日本の伝統的な儀式や祭りを、年中行事として開催しています。多くの学生がこうした行事を通して、身をもって神道文化を体感しています。



成人加冠式(学生の成人儀礼)



観月祭(学生が雅楽や舞楽を奉納)

就職支援・資格取得のためのサポートも充実!

▶取得可能な教員免許状

- 中学校教諭一種免許(社会)
副免許 中学校(国語・英語・中国語・保健体育)
- 高等学校教諭一種免許(公民)
副免許 高等学校(国語・英語・中国語・保健体育・地理歴史・書道)

▶取得可能な資格

- 神職資格(明階検定合格・正階授与) ●博物館学芸員
- 社会教育主事 ●図書館司書 ●学校図書館司書教諭

▶資格の名門TACと連携

本学が費用を一部負担、Wスクールも可能!

國學院大學では資格の名門TACと提携。本学の費用一部負担でTAC渋谷校と本学両方の教室で、試験対策の基礎から実践的な力を身につけることができます。(※コースによってはTAC水道橋・池袋校での受講の場合もあります)

■公務員試験対策講座

通常の10%~30%オフの値段でTACの各教室クラス生と同等キスト・同じ内容の試験対策講座が受けられます!

公務員試験基礎講座／公務員試験対策コース別本科生講座／警察・消防官対策講座

警察・消防官は公務員試験の中でも人気の受験先。毎年、國學院大學からも多くの学生が受験しています。

■その他の資格取得講座

知名度・人気ともに高い「履歴書に書ける資格」の取得講座も充実しています。

日商簿記検定(3級・2級)、行政書士、販売士検定試験(2級)、知的財産管理技能検定(3級)講座、宅地建物取引主任者試験、秘書技能検定(準1級)などの対策講座、初歩からはじめるTOEIC講座、課外英会話講座

多彩な奨学金制度を用意しています

入学後の経済的サポートも充実。國學院大學の奨学金はすべて「給付型」で、返還の必要はありません。

●國學院大學フレックス特別給付奨学金 (夜間主の学生対象)

支給額▶後期分授業料・施設設備費相当額

フレックスA(夜間主)の在学学生で、渋谷キャンパスの夜間および共通時間帯の授業のみの受講を条件に、後期分授業料等相当額の奨学金が支給されます。

●國學院大學入学試験成績優秀者育英制度

支給額▶授業料相当額

入学試験(A日程)の成績上位者に奨学金を給付します。

●國學院大學成績優秀者奨学制度

支給額▶最優秀者は授業料相当額(2名採用)、優秀者は30万円・15万円(6名採用)

2年生以上の成績優秀者が対象です。

●國學院大學奨学金制度

支給額▶30万円・15万円

●特例給費奨学金制度

支給額▶上限50万円

家計支持者および本人の経済事情が急変したことにより修学が困難となった学生に対応。学業の継続を支援します。

学部長メッセージ



神道文化学部学部長
石井研士

神道文化学部へようこそ!

國學院大學は21世紀の都市型大学を目指し、大規模な再開発事業を進めてきました。本学は、最新の施設設備を整えたエコキャンパスとして生まれ変わったのです。みなさん、この新生渋谷キャンパスで、本学の「建学の精神—神道精神」を現代に生かし、「日本の文化と伝統」を、共に見つめなおしていきましょう。教員一同、みなさんの入学を心待ちにしています。